

2016年2月15日

日本ユニシス実業団バドミントン部 「バドミントン日本リーグ 2015」で3度目の男女とも全勝優勝を達成

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）実業団バドミントン部^(注1)は、10月31日～2月14日まで開催された「日本リーグ 2015」において、男女とも全勝優勝を達成しました。

日本ユニシス男子チームは、金沢学院クラブを3-0で破り7戦全勝で2年ぶり6度目の優勝、女子チームは、昨年度覇者のNTT 東日本に2-1で勝利し2年ぶり4度目の優勝を果たしました。

日本リーグでの男女同時優勝は、2010年、2013年に続き3度目、また、女子チームは昨年7月に開催された「第65回全日本実業団バドミントン選手権大会」で3連覇を達成しており、国内団体戦の二大タイトルを完全制覇しました。

なお、最高殊勲選手賞には早川賢一・遠藤大由組と高橋礼華・松友美佐紀組、殊勲選手賞に坂井一将と奥原希望、新人選手賞に東野有紗が受賞しました。

日本ユニシス実業団バドミントン部は、日本リーグ出場チームとして最多となる15選手・内定者1名^(注2)が2016年日本代表（ナショナルチーム）メンバーに選出されています。

今後も日本ユニシス実業団バドミントン部は、日本のバドミントン界を牽引し、世界で活躍できるトッププレイヤーの輩出を目指していきます。

以上



3度目の男女とも全勝優勝を達成した日本ユニシス実業団バドミントン部

「バドミントン日本リーグ2015」対戦結果

・男子チーム(7勝全勝)

第1戦	10月31日(土)	3-0	vs	東北マークス
第2戦	12月23日(祝)	2-1	vs	日立情報通信エンジニアリング
第3戦	12月27日(日)	3-0	vs	トリッキーパンダース
第4戦	1月23日(日)	2-1	vs	NTT 東日本
第5戦	1月31日(日)	3-0	vs	JR 北海道
第6戦	2月7日(日)	2-1	vs	トナミ運輸
第7戦	2月14日(日)	3-0	vs	金沢学院クラブ

・女子チーム(7勝全勝)

第1戦	10月31日(土)	3-0	vs	ACT SAIKYO
第2戦	12月27日(日)	3-0	vs	岐阜トリッキーパンダース
第3戦	1月23日(日)	2-1	vs	広島ガス
第4戦	1月31日(日)	2-1	vs	北都銀行
第5戦	2月7日(日)	2-1	vs	ヨネックス
第6戦	2月13日(土)	2-1	vs	再春館製薬所
第7戦	2月14日(日)	2-1	vs	NTT 東日本

注1: 日本ユニシス実業団バドミントン部

1989年	創部
2000年	シドニーオリンピック、男子シングルス日本代表選手を輩出
2004年	アテネオリンピック、男子シングルス日本代表選手を輩出
2005年	「日本リーグ」初優勝
2006年	国内団体戦の2大タイトル「全日本実業団選手権大会」・「日本リーグ」を完全制覇
2007年	女子チームを創設
2008年	北京オリンピック、男子ダブルス日本代表を輩出
2009年	「日本リーグ」男子チーム優勝、「日本リーグ2部」女子チーム優勝
2010年	女子チーム「日本リーグ2009」入替戦に勝利し1部昇格
2010年	「日本リーグ2010」史上初の男女同時優勝を達成
2011年	「日本リーグ2011」女子チーム2連覇を達成
2012年	「全日本実業団選手権大会」男子チーム6年ぶり2度目の優勝
2012年	ロンドンオリンピック、混合ダブルス日本代表を輩出
2013年	「全日本実業団選手権大会」で男女同時優勝を達成
2013年	「日本リーグ2013」で史上2度目の男女同時優勝を達成
2014年	女子チーム「第64回全日本実業団選手権大会」で2連覇達成
2015年	女子チーム「第65回全日本実業団選手権大会」で3連覇達成

注2: <2016年日本代表(ナショナルチーム)>

男子シングルス

上田拓馬、坂井一将

男子ダブルス

早川賢一・遠藤大由組、佐伯祐行・埜畑亮太組、井上拓斗・金子祐樹組

女子シングルス

奥原希望、高橋沙也加

女子ダブルス

高橋礼華・松友美佐紀組

混合ダブルス

数野健太・栗原文音組、渡辺勇大(富岡高校3年・2016年度入社内定者)・東野有紗組

* 関連 URL :

日本ユニシス実業団バドミントン部 <http://www.unisys.co.jp/BADMINTON/>

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。